第17回中野総合学科新校（仮称）再編実施計画懇話会

日時：令和7年7月15日（火）

17時30分～19時

会場：中野立志館高校 大講義室

<次第>

1 開 会

2 挨拶

3 新構成員自己紹介

4 会議事項

- (1) 「第16回中野総合学科新校再編実施計画懇話会」まとめ
- (2) 中野総合学科新校施設整備について
- (3) 校名選考に向けて
- (4) その他

5 その他

<次回の予定>

- ・期日：10月頃開催予定
- ・内容：校名選考について

ワーキンググループ(WG)進捗状況 他

6 閉 会

新校再編実施計画懇話会開催要綱

(目的)

第1 県教育委員会が、統合新校ごとの再編実施計画を策定するにあたり、再編対象校に加えて、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」(以下、「懇話会」という。)を開催する。

なお、懇話会は、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、法律又は条例により設置された附属機関ではないものとする。

(会議事項)

第2 懇話会は、次の事項について意見交換を行う。

- (1) 学校像、教育方針等に関すること
- (2) 校地・施設・設備等に関すること
- (3) 管理運営等に関すること
- (4) 教育内容等に関すること
- (5) その他、県教育委員会が必要と認める事項に関すること

(構成員)

第3 懇話会の構成員は、統合対象校の学校関係者(校長、教職員等)、地域の代表(自治体関係者、産業界の代表等)、同窓会、PTA、生徒の代表等とし、必要に応じ、県教育委員会が依頼する。

2 会議に座長を置く。

(開催期間)

第4 会議は統合新校が開校するまでの間、開催するものとする。

附 則

この要綱は、令和2年10月26日から施行する。

令和7年度 第17回 中野総合学科新校 再編実施計画懇話会 構成員名簿 (敬称略)

	区分	氏名 (○:座長)	所属等	新構成員
1	自治体	竹内 敏昭	中野市 副市長	
2		久保田 敦	山ノ内町 副町長	
3		○ 柴本 豊	中野市教育委員会 教育長	
4		竹内 延彦	山ノ内町教育委員会 教育長	
5	産業界	藏谷 伸太郎	信州中野商工会議所 議員	
6		中島 弘子	山ノ内町商工会 女性部部長	
7	同窓会	斉藤 武美	中野立志館高等学校同窓会 副会長	
8		綱嶋 健二	中野西高等学校同窓会 会長	
9	PTA	中山 雅登	中野立志館高等学校PTA 会長	○
10		芋川 利幸	中野西高等学校PTA 会長	
11		荒井 健悟	中高PTA連合会 (中学校代表)	
12		外山 平	中高PTA連合会 (小学校代表)	
13		岡田 美穂	小布施中学校PTA 副会長	
14	学校関係者	山崎 巖	中野立志館高等学校 校長	
15		阿部 佳代子	中野立志館高等学校 教諭	
16		堀内 和徳	中野西高等学校 校長	
17		荒川 英子	中野西高等学校 教諭	
18		小山 正博	中高飯水校長会 会長 (中野平中学校)	
19		市村 一彦	中高飯水校長会 副会長 (日野小学校)	
20		嶋田 和美	上高井郡校長会 (小布施中学校)	
21	学識経験者	大日方 悦夫	元県立高等学校長	
22	地域	三森 和子	北信地域振興局 局長	
23		佐藤 素子	山ノ内中学校保護者	
25	生徒	黒岩 佳佑	中野立志館高等学校生徒会 会長	
26		川邊 暖太	中野立志館高等学校生徒会 副会長	
27		宮入 彩愛	中野立志館高等学校生徒会 副会長	
28		宮川 響	中野西高等学校生徒会 会長	
29		渡辺 琉之介	中野西高等学校生徒会 副会長	
30		阿藤 綾	中野西高等学校生徒会 副会長	

事務局

中野立志館高等学校		中野西高等学校		高校再編推進室	
生田 憲克	全日制教頭	小野 陽子	教頭	原 多恵子	主幹指導主事
栢村 将生	定時制教頭	宮尾 久枝		荻原 洋平	主任指導主事
阿部 佳代子		佐々木 優也		細萱 裕樹	主任指導主事
小林 ちひろ		佐藤 拓哉		小池 智博	主査
清水 潔		荒川 英子		学びの改革支援課	
滝澤 真一				佐久 浩信	主任指導主事

第 16 回 中野総合学科新校(仮称)再編実施計画懇話会まとめ(案)

日 時	令和 7 年(2025 年) 4 月 21(月曜日)17 時 30 分～19 時 00 分		
場 所	中野立志館高校 大講義室		
出 席 (敬称略)	竹内敏昭、久保田敦、柴本 豊、竹内延彦、藏谷伸太郎、綱嶋健二、関 健、芋川利幸 荒井健吾、外山 平、岡田美穂、山崎 巖、阿部佳代子、堀内和徳、荒川英子 小山正博、市村一彦、嶋田和美、大日方悦夫、三森和子、佐藤素子 黒岩佳佑、宮入彩愛、宮川 響、渡辺琉之介、阿藤綾 (以上 26 名)		
欠 席 (敬称略)	中島弘子、斉藤武美 川邊暖太 (以上 3 名)	傍聴者	3 名 マスコミ 2 社
事務局	中野立志館高校	生田全日制教頭(事務局長)、松村定時制教頭 阿部教諭、小林教諭、清水教諭、滝澤教諭	
	中野西高校	小野教頭(副事務局長) 宮尾教諭、佐々木教諭、佐藤教諭、荒川教諭	
	県教育委員会	原主幹指導主事、荻原主任指導主事、細萱主任指導主事、貝野主事 佐久主任指導主事	
当日資料	第 16 回懇話会資料、中野総合学科新校施設整備事業基本計画策定支援業務資料		

会議事項

- (1) 新校開校までのロードマップについて
- (2) 第 15 回懇話会まとめ
- (3) 統合方法について
- (4) 中野総合学科新校施設整備について

主な内容(要旨) (・質問 ⇒事務局回答)

- (1) 新校開校までのロードマップについて
 - 施設整備 基本計画案についてご意見をいただく
 - 今年度、新校の校名等について検討していく。
 - 新校検討ワーキンググループを懇話会事務局を中心に立ち上げ、教育課程等について具体的に検討していく。
 - 県教育委員会(高校教育課・学びの改革支援課)と学校が協働しながら進めていく。
- (2) 「第 15 回中野総合学科新校再編実施計画懇話会」まとめ(承認)
- (3) 統合方法について

年次統合とする

 - 年次統合の場合も、統合前から両校での交流や合同での活動を行っていくことが求められる。
 - 大学進学への対応…大学進学に特化した総合学科高校が全国や県内にもあるように、総合学科のシステムの中で中野西高校での学びや進路指導を行っていくことは可能である。

<質疑・ご意見等>

 - ・前回や前々回の懇話会で、年次統合についてどのような前向きな意見があったのか、今回の懇話会資料の中にさらに加えておいていただきたい。
 - ・現在の中野立志館高校への統合の際も一斉統合は難しい状況で年次統合としたが、今回も普通科と総合学科という組み合わせに加え定時制についても考える必要があり、一斉統合は難しい状況なので年次統合という結論でいいと思う。
 - ・文化祭やクラスマッチはどのように行われたのか。

⇒中野立志館開校当時、中野高校、中野実業高校、中野立志館高校それぞれに生徒会があった。文化祭については、中野高校は別であったが、中野実業と中野立志館生徒会は合同開催とし、互いに企画を持ち寄って盛り上げた。

(4) 中野総合学科新校施設整備について

○高校教育課高校再編推進室より施設整備基本計画について説明：6月末を目途に策定

○設計チーム（ラーバンデザインオフィス・小林・細谷設計共同企業体）より基本計画の進捗状況について説明

①両校の特徴の融合を考慮し、ソラ広場やラーニングパサージュとよばれる屋内の空間などを提案

②地域、生徒、職員とのワークショップを実施

③建築計画の進捗について

配置計画について3案を検討。機械電気棟とループ状の通路で繋がっている点、中野カフェが独立して配置されている点、池が現状の形で維持されている点などが評価されている。この意見を踏まえ、案③をベースに検討を進めている。

④上下足の履き替えについての検討

昇降口で履き替えを行う場合…内外の連続性が上回り、移動時間が生じるなど移動性が低下。広い昇降口が必要なため、イニシャルコストがかかる。

一足制とした場合…連続性が高くなり、短い空き時間でも移動しやすい、回遊性の高い動線とすることができる。

<質疑・ご意見等>

・中野カフェは学食という理解でよいのか。また一般の方も飲食目的で利用できる場であるか。

⇒プロポーザル時に提案したものは地域の人や外部の人が自由に入ることができる、いわゆるカフェであったが、ワークショップや先生方との意見交換の中から難しいということで、学食の拡張版といったものになるか、商業科生徒の実習の場となるか、今後検討していく。

・ファブラボとは何か。

⇒DIYをサポートするような物作りのマシーンがそろった空間。今回提案している場所は土木建築実習棟で、授業でも使いつつ、かつ地域の人がちょっとした物作りをするときに時間貸しできるようなもの作り空間というイメージである。

・懇話会のスケジュールの中で今は教育課程案を検討の段階で、今年度末に案の決定がなされるということであるが、既にその段階では基本計画の基本設計が終わって、実施設計に入っていくことになる。施設計画の実施計画が出来上がっている段階で教育課程がまだ決まっていないということになる。さらに、教育課程の最終決定は令和10年度となっているが、実施設計もその教育課程の中身によってはフレキシブルに対応できるということで、この設計のスケジュールが組まれているという理解でよいのか。

⇒教育課程については、完全に確定するのはロードマップに示されたとおりが、ここまでどのような学びをしたいか、いろいろと学校等で検討してきており、すでにそれに対応できるように施設設備を考えている。教育課程については2年かけてしっかりと丁寧に検討していきたいと考えている。

・理科室について基本的に新築する部分は教室系にしたことで特別教室系が変わったとしても諸室の入れ替えで対応できるように考えている。さらに、クラス減になっても多目的な教室等、将来フレキシブルに使えるように方向性を考えるという対応をしている。

・特別支援が必要なお子さんでも校舎内をわかりやすく動けるような配慮をお願いしたい。

・令和9年から3年間工事が始まるが、基本設計の中でその期間を過ごす生徒のことも考慮しながら改修計画を考えていただきたい。

・基本計画はいつ頃出される予定か。

⇒今年度6月末に受託者から提出される基本計画（案）を県で決定する。

その他

【次回懇話会】

・期日：6月～7月（予定）

・日時、内容等の調整が済み次第、開催通知にてお知らせする